

輝き

三木市立三木特別支援学校

学校通信 No.12

令和3年1月6日

一人一人が「輝き」、「主体的」に
活動する児童生徒の育成

小学部 ともにかがやく

中学部 Together With You

～みんなでつかもう～

明けましておめでとうございます 校長 小林 義直

令和3年が始まりました。今年は丑（牛）年です。十二支の動物の中で最も動きが緩慢で歩みの遅い丑（牛）の年は、先を急がず一歩一歩着実に物事を進めることが大切な年と言えます。十二支の2番目の干支であることから、子年に蒔いた種が芽を出して成長する時期とされ、まだ結果を求める時期ではなく、結果につながる道をコツコツと作っていく基礎を積み上げていく時期とも言えます。丑（牛）の年は、黙々と目の前の自分の仕事をこなすことが将来の成功につながると考えられています。



牛は昔から食料としてだけでなく、農作業や物を運ぶときの労働力として、人間の生活に欠かせない動物でした。勤勉によく働く姿が「誠実さ」を象徴し、身近にいる縁起の良い動物として十二支に加えられたようです。また「紐」という漢字に「丑」の字が使われおり、「結ぶ」や「つかむ」などの意味を込めたとも考えられています。仏教が生まれたインドでは牛は神様として大切にされています。牛には神に近い尊いイメージがあるようです。神に近いとされる牛が干支ということなら、コロナ禍が終わる縁起の良い年になることを期待します。

新しい年の始まり

今年の初詣は、3日(日)の午後に家の近くの住吉神社に参拝しました。誰もいない境内での参拝となりました。1日(金)未明に参拝した人に聞くと、参拝者は少なく、例年振舞われていたうどんはカップ麺の配布に代わっていたそうです。毎年お神酒が振舞われ、焚火で暖をとりながら談笑をするところですが、かなり縮小されていたようです。地域行事が簡素化されているのも仕方がないことだと思います。また、親戚の家に行くこともなく、親戚家族が我家に来て過ごすこともなく、家族で静かな正月三が日を送りました。このようなことを、当たり前のこととして受け入れて新年を過ごしました。今後も一人一人が気を付けて、新型コロナウイルスに感染しないように努めていくことが大切だと考えます。

3学期が始まりましたが、これまでと同様にマスク着用、手洗いや消毒、換気、うがいなど各自でできる事を続けてください。また、日々の食事や睡眠などの体調管理や朝の検温等に、引き続きご協力をよろしくお願いいたします。